

2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「線路で働く男たち」

小野凌輔（富山県）

鉄の匂いが夜空を染める
重機の唸りが地平を揺らす
男たちの影が線路に刻まれ
一瞬の静寂が明日を支える

火花が跳ねれば夜が割れる
錆びたレールに命を吹き込む
汗の塩が風に解けてゆく
星屑を照らす作業灯の下

大地の鼓動を手のひらで測り
継ぎ目なき軌道を夢見る
コンクリートの隙間から芽吹く
名もなき草のしたたかきよ
鉄の業火のともしびよ

最後のボルトが締められる頃
遠くで汽笛が朝を呼ぶ
消えゆく工具の音のあとには
光の帯より新たなときが刻まれる

あいの風とやま鉄道

December

2026 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9